

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	育ちの舎アプリ		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 10 日		～ 令和 7 年 2 月 21 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 10 日		～ 令和 7 年 2 月 21 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 25 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育園が併設されているため、保育園児の歌い声や遊ぶ声、保育士が演奏するピアノや手遊び歌など、活気ある雰囲気を感じながら過ごすことができます。	直接的な支援にとどまらず、関連する多様な地域課題等に視点を当てて、解決の糸口を検討しています。	支援の手法やコミュニケーションにおいて、自らの慣れを常に振り返り、丁寧に愛護的なケアが持続できるよう取り組みます。
2	関連する専門的な情報を広く収集し、科学的根拠のある支援の実施に努めています。	特別支援学校など関連機関との連携を深めるため、積極的な協力体制の整備に努めています。	理学療法的な介入をさらに深め、幅広い支援の提供に取り組みます。
3	インクルーシブな地域づくりに向けて、あらゆる可能性を模索しながら実効性のある支援づくりに取り組みます。		個別的な発達課題や健康課題をより具体的に抽出し、ご家族にもわかりやすい支援づくりに努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会や保護者同士の交流機会などの提供が不足していました。	交流機会に関するニーズの把握をしていなかったため、具体的な計画立案や検討につながりませんでした。	他事業所の取り組みなど情報収集をし、実現可能な取り組みの検討をすすめます。 食事に関する取り組み(ペースト食の冷凍食品開発)は保護者・支援者・その他地域の専門職種と意見交換や情報共有が図る機会にもなっているため、今後も継続していきます。
2	定期的な保護者面談や相談対応などの機会が不足していました。	まずは保護者とのコミュニケーションが不十分であったことが要因と考えています。	基本として日頃から保護者とのコミュニケーションを密にし、相談機会の必要性などを把握したうえで相談会等を計画します。
3			